



因州和紙あかり展への出展作品と製作中の試点灯！

シリーズ 元気です

132

青谷の宝「毛利みき」と地域の魅力をPR

あい らぶ さんな
I love あおや37メンバーズ

始まりは灯ろう設置事業

青谷町で小学生時代を過ごし、現在女性誌を中心に広告書籍、WEBなどで活躍中のイラストレーター、毛利みきさんをご存知でしょうか。滑らかな線に落ち着いた色使い、愛くるしい女性の表情。「あつ、かわいい」と手に取ってみたいくなるイラストを数多く発表しています。

毛利さんの作品をPRしながら、青谷町の活性化を図ろうと活動する人たちが「I love あおや37メンバーズ」



担任
宮尾 常磐 さん
Tokiwa Miyao

会長
高浜 信浩 さん
Nobuhiro Takahama

ズ」のみなさんです。37とは、昭和37年生まれからとったもの。メンバーの多くは、毛利さんと一緒に学校生活を送っていた仲間たちです。会長の高浜さんは、同窓会で毛利さんの活躍を知り、「毛利さんのイラストは素晴らしい。何とか地域の活性化につなげられないか」と、考えていました。

そんな思いを抱いていた高浜さんに転機が訪れたのは、平成23年。町内を流れる日置川に、因州和紙を使用した灯ろうの設置事業が行われる

際、「灯ろうに毛利さんのイラストを使用できないか」という相談を受けました。至急、毛利さんに連絡。青谷に住んでいたころの思い出をイラストに描いてもらうよう話を進めると同時に、町内にいる同級生に灯ろう設置事業の協力者を募集しました。この出来事をきっかけに会は発足。毛利さんのイラストを貼り付けた33基の灯ろうが完成し、訪れた人々たちを魅了しました。

宮尾さんは、小学校時代の担任。灯ろうの完成したころにメンバーに合流しました。



毛利さんのイラストが浮かびあがる日置川の灯ろう

「彼女の絵は、生活の中のちょっとした幸せを捉えています。だから癒しを与えてくれます」と、作品の魅力を語ります。

郷土の魅力を形に

37メンバーズのみなさんは、夏泊の海女や鳴り砂の浜など、毛利さんのイラストを用いた絵手紙やマグカップを制作。あおや郷土館や仁風閣で行われた毛利さんの作品展の会場でPRしました。活動中にメンバーが着用するTシャツは、「I love あおや」をテーマに毛利さんが描いた

《3月の番組ガイド》

鳥取市行政番組

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週金・土

鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【話題・特集】

- ▷ 鳥取観光マイスター認定証授与式
- ▷ 鳥取自動車道全線開通記念フォーラム
- ▷ 鳥取市誘致企業紹介



2月1日、2日放送の「鳥取市誘致企業紹介」

特別番組『鳥取市庁舎整備専門家委員会』（録画放送）

鳥取市庁舎整備のあり方を検討する専門家委員会
【放送】開催日の翌日 14:00～
開催後直近の土曜日 19:00～

静止画文字情報

『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週水・木・金・土



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

いなばぴよんぴよんネット 自主制作番組

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

アスパラガスのハウス物の収穫の様子や、農作物の栽培技術を学ぶ農業塾開講の話題などをお送りします。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

ひなまつりなど地域の伝統行事や、卒業・卒園を迎える子どもたちの話題をお送りします。

生活情報番組『ぴよんぴよんワイド』【放送】毎週火

子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介いたします。

※番組の放送時間や内容はホームページまたはデジタル放送の電子番組表(EPG)をご覧ください

情報をお寄せください！

いなばぴよんぴよんネット ☎ 0857-22-6111

※放送予定は予告なく変更することがあります。
番組の放送時間は、ホームページでも紹介しています。
<http://www.inabapyonpyon.net>



あおや和紙工房で開催された毛利さんの作品展

オリジナルのイラスト入り。海や和紙など、青谷町の魅力をイメージさせる色使いで、ハートが生き生きと描かれています。「住む場所は違っていても青谷に注ぐ愛情は同じ」。そんなみなさんの絆を象徴しているかのようです。

「昨年、「因州和紙あかり展」にはオリジナルの和紙灯ろうを出展。青谷町の地形をモチーフにした高さ2畳の巨大な灯ろうは、見る人を惹き付けました。

今年も因州和紙あかり展に出展するため、Tシャツに描

かれたイラストを立体化したオリジナルの灯ろうを制作。作業はいつも笑い声に包まれ、和気あいあいとした雰囲気の中で行われました。形がでかると、部屋の電気を消して試点灯！「おーっ、いいねー」と、みんなの顔がほころびました。

2月10日には、あおや和紙工房で毛利さんのイラストをPR展示し、この日のために新しく作ったエコバッグなども紹介し、お客さんから好評を得ていました。

毛利さんは、37メンバーズ

の活動について、「とてもありがたいです。愛着のある青谷町のために、これからも協力したい」と、仲間への感謝の気持ちでいっぱいです。

魅力を広く伝えたい

「メンバーは、いつも責任のある仕事をこなし、忙しい日々を送っていますが、活動中は生き生きとしています」と宮尾さん。仲間と過ごすひとときが、活力を与えてくれると感じています。高浜さんは、「できるときにできることをしているだけです」と

控えめに語りませんが、「毛利さんのイラストを地域のみんなに知ってもらいたい、豊かな気持ちになってほしい。そして地域外の人にも知ってもらおうよう努力したい」と、今後の活動に意欲を見せています。

37メンバーズの灯ろうが出展されている因州和紙あかり展は、3月31日まであおや和紙工房で開催中。毛利さんの2回目の作品展示は、3月30日に行われます。この機会に青谷の魅力溢れる作品の数々をご覧ください。いかがでしょうか。